

# 登園基準表

# ふじのもり保育園

	病名	潜伏期間	感染経路	感染可能期間	主な症状	登園基準
1	インフルエンザ (様疾患)	1～3日	飛沫・接触	感染後約10日	発熱、全身倦怠、筋肉痛、鼻カタル、咽頭痛、咳	解熱した後3日を経過し、元気がよいとき
2	百日咳	7～10日	飛沫・接触	感染後約3週	発作性咳の長期反復、持続	特有の咳が消失したとき
3	はしか(麻疹)	10～12日	空気・飛沫・接触	発熱出現1～2日前から発疹出現の前後4～5日	上気道のカタル、発熱、粘膜疹コプリック斑	発疹に伴う熱が下がった後、3日を経過し元気が良いとき
4	おたふくかぜ (流行性耳下腺炎)	14～24日	飛沫・接触	明らかな症状を示す7日前からその後9日続く	発熱、耳下腺、舌下腺、顎下線の腫脹及び圧痛	耳下腺の腫れが消失したとき
5	三日はしか(風疹)	14～21日	飛沫	発疹出現の前後7日	種々の発疹、軽熱、リンパ腺腫大	発疹が消失したとき
6	水ぼうそう(水痘)	11～21日	空気・飛沫・接触	水疱発現前2～後6日	軽熱、被覆部に発疹、斑点丘疹状⇒水疱⇒顆粒状痂皮	すべての発疹がかさぶたになったとき
7	プール熱 (咽頭結膜熱)	5～7日	飛沫・接触	潜伏期後半～発症後約5日間	発熱、全身症状、咽頭炎と結膜炎の合併症	解熱し、主要症状がなくなった後、2日を経過してから
8	流行性角結膜炎 (はやり目)	1週間以上	飛沫・接触	発病後約2週間	軽熱、頭痛、全身倦怠、結膜炎の炎症、眼瞼浮腫、目やに	治癒するまで
9	結核	1～2ヶ月	空気	喀痰の塗抹検査が陽性の間	咳、痰、発熱が2週間以上遷延	治癒するまで
10	ヘルパンギーナ	2～4日	飛沫・接触	発症から数週間	高熱、咽頭通、咽頭に水疱	解熱し、食事也十分出来て元気になったとき
11	手足口病	3～5日	空気・飛沫・接触	発症から数週間	感冒様症状、手足口に赤斑⇒水疱	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響が無く普段の食事がとれること
12	りんご病 (伝染性紅斑)	10～20日	飛沫	風邪症状発現から顔に発疹が出現するまで	手足に網目状の紅斑、頬部の赤斑性発疹、入浴後発疹が再発	感染力はないので、元気がよければ登園可能
13	溶連菌感染症	2～5日	飛沫・経口	潜伏期後半～発症後約7日間(抗菌薬内服24時間)	発熱、咽頭痛、扁桃腺炎、莓舌、頸部リンパ節炎、全身に発疹	有効治療をはじめてから1～2日たってから
14	ウイルス性胃腸炎 (ロタ・ノロ・アデノウイルス)	1～3日	接・糞・食品媒介	症状がある時期	発熱、下痢、嘔吐、腹痛	下痢嘔吐などの症状が治まり普段の食事が取れ、主治医が登園を認めたとき
15	腸管出血性大腸菌感染症 (O157、O26、O111)	3～8日	経口・糞	便中に菌を排出している間	激しい腹痛、頻回の水様便、血便、発熱は軽度	症状が治まり、且つ抗菌薬による治療が終了し、48時間を空けて連続2回の検便によりいずれも菌陰性が確認されたとき
16	マイコプラズマ肺炎 (うつる肺炎)	14～21日	飛沫	臨床症状発現時がピークでその後4～6週間	咳、発熱、呼吸困難(重症の場合)	解熱し、普段の食事ができ元気になったとき
17	突発性発疹	約10日	飛・接・経口	発熱中	高熱、3日後に全身に発疹	解熱し、機嫌が良く全身状態が良い事
18	RSウイルス感染症	2～8日	飛沫・接触	通常3～8日間(乳児では3～4週間)	発熱、鼻汁、咳嗽、喘息、呼吸困難	重篤な呼吸症状が消失し、全身状態が良い事
19	带状疱疹	不定	接触		小水疱が肋間神経に沿った形で片側に現れる	すべての発疹が痂皮化するまで
20	頭ジラミ	10～14日	頭皮から頭皮への接触、衣服や寝具を介する	産卵から最初の若虫が孵化するまでの期間は10～14日	小児では多くが無症状、頭髪の中に虫体を確認、または毛髪にふけのような卵の付着	駆除を開始している事が確認できれば登園可能であるが、状態によっては園の判断による
21	ヘルペス口内炎	3～7日	接触	水疱を形成している間	口内炎症、口角、口唇の皮膚粘膜に水疱(口唇ヘルペス)	症状が改善し、元気であれば登園可能
22	とびひ(伝染性膿痂疹、皮膚化膿症)	2～10日	接触	効果的治療開始後24時間	主として豆つぶ大の水疱自覚症状(あまりなし)	皮疹が乾燥しているか、湿潤部位が被覆できる程度のものであること
23	水いぼ (伝染性軟属腫)	2～7週間	接触	不定期	球状のいぼ	掻きこわし傷から滲出液が出ているときは被覆すること

\*上記感染症以外でも、園の判断により登園許可書やお休みをお願いする場合がございます。予めご理解のほどお願い致します。